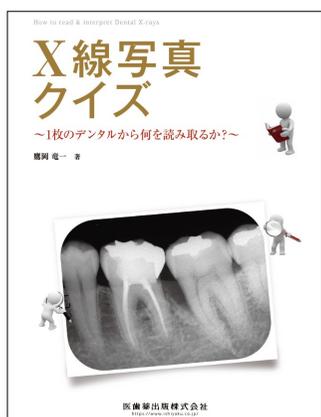


ようこそ、
モノクロームワールドへ！



X線写真クイズ

1枚のデンタルから何を読み取るか？

鷹岡竜一 著

A4判変/168頁 定価：本体 6,300円＋税
医歯薬出版（2019年7月）

東京都府中市・壬生歯科医院
評・壬生秀明（歯科医師）



モノトーンで無機質な「X線写真」とどこか
楽しげな「クイズ」を組み合わせた題名が、そ
のまま著者の思いを語っています。わかりにく
いこと、近寄り難いことを身近に、そして楽し
く伝えたいという熱い思いが静かに伝わってき
ます。

ぜひ、クイズに挑戦しながら読んでくださ
い。挑戦が進むほどに、歯石はもとより歯根
膜腔や骨梁に自然に目が向くようになっていき
ます。「クイズ」のマジックです。そしてそのマ
ジックは臨床の場面でも効いてきます。歯根膜
腔の拡大原因や謎の骨梁変化のクイズを解こう
している自分に気づくことになるでしょう。

身近に経験する症例が選ばれているのもあり
がたく、そういえばこんな症例があったな、と
思いながら自身の臨床を見返して“違いや共通
項”が見つかるのも楽しみになります。学ぶ側
を飽きさせない、楽しく学んでほしい、という
著者の工夫は絶妙で他に類を見ません。

さらに、実は本書にはもっと深い仕掛けがあ
ることに気がつきます。歯科疾患の多くは厄介
な慢性疾患ですが、この慢性疾患への対処の仕
方を3×4 cmのデンタルX線写真を切り口に
見事に説いているのです。長寿社会となり長く
かかる医療が求められる時代に、患者さんの
信頼を得る歯科衛生士、歯科医師にとって必携
の一冊になると確信します。歯根分割の項で
は、患者さんのブラッシング能力に応じて分割
なのか、抜根なのか、切らずにメンテナンス
なのかを決定する、とあります。病を診て口を
診て、人とかかるとい慢性疾患と向き合う
のに最適な題材が、実は根分岐部病変であるこ
とに気づかされます。

「分かれの予感」と題して根分岐部病変への対
応をクイズ27題のうち8題も記されているの
は、著者が慢性疾患への処し方を強く訴えた
かった表れとも読むことができます。そう読む
と本書はX線写真の読み方にとどまらず、歯周
病の読み方、患者さんへの接し方、慢性疾患へ
の処し方までを含む歯科臨床学の教科書ともい
えそうです。これほどまでに歯科界をよくした
い、というメッセージを感じた書籍に出合った
ことがありません。患者さんから信頼を集める
歯科医療の作法もいたるところに記されていま
す。学生時代にこんなに楽しい教科書があった
ら、もっと勉強したのにと思わせてくれた一書
です。